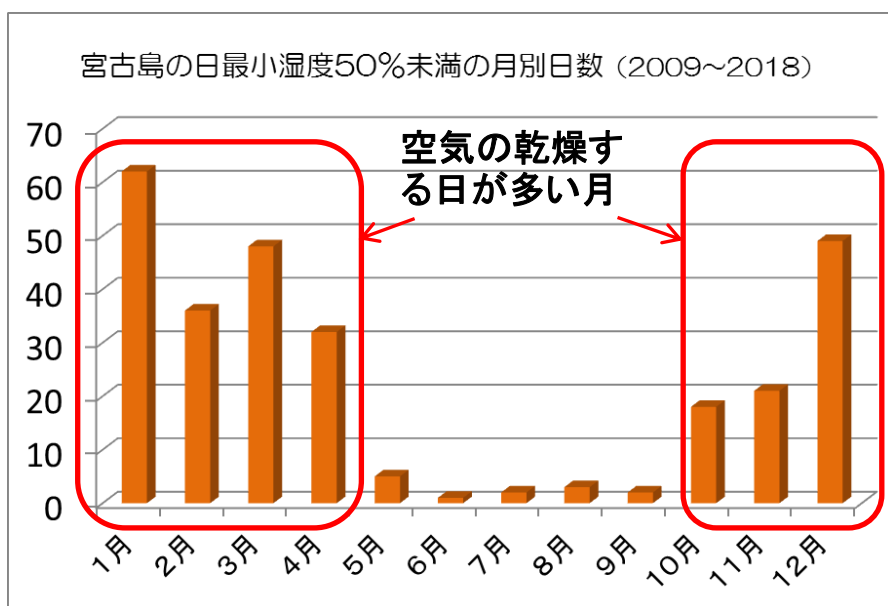


# 火の元 火の取り扱いに注意

## 冬は空気が乾燥します

気象台では、空気が乾燥し、火災の危険が大きいと予想される場合は「乾燥注意報」を公表して、注意を呼びかけています。

2009年から2018年の10年間の宮古島の日最小湿度が50パーセント未満の月別日数は、10月ごろから徐々に増えはじめ、1月が最も多くなります。この時期は、北よりの季節風が乾いた空気を運んできたり、乾いた空気を持った高気圧で覆われ晴れる日が多くなるからです。



風の強い日も、  
火の取り扱いには  
注意が必要だよ。



火災の原因として、ガスコンロの消し忘れ、タバコの火の不始末などありますが、サトウキビ畑での火入れ作業時にも多くの火災が発生しています。

**「乾燥注意報」や「強風注意報」が発表されているとき  
サトウキビ畑での「火入れ作業」は絶対にやめましょう**

### 《乾燥注意報の発表基準》

宮古島地方では最小湿度50パーセント以下で、実効湿度※60パーセント以下と予想される場合に乾燥注意報を公表します。

(※実効湿度：木材の乾燥具合を表す)

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ  
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)